

株式会社タケエイ(東1: 2151)

平成31年3月期 (2019年3月期)

第1四半期決算 補足説明資料



バイオマス発電時の排熱を利用して栽培している
高糖度トマト『アイコ』(津軽エネベジ)

単位：百万円、%

	H29/6 (2017/6)		H30/6 (2018/6)		
	<実績>		<実績>		前年同期比
		売上高比		売上高比	
売上高	7,099	—	7,380	—	+3.9
営業利益	552	7.8	207	2.8	-62.4
経常利益又は経常損失	510	7.2	-6	—	—
税金等調整前 四半期純利益又は純損失	520	7.3	-197	—	—
四半期純利益又は純損失◆	286	4.0	-272	—	—

◆親会社株主に帰属する四半期純利益又は純損失 ※百万円未満切捨て

業績に影響を与えた要因

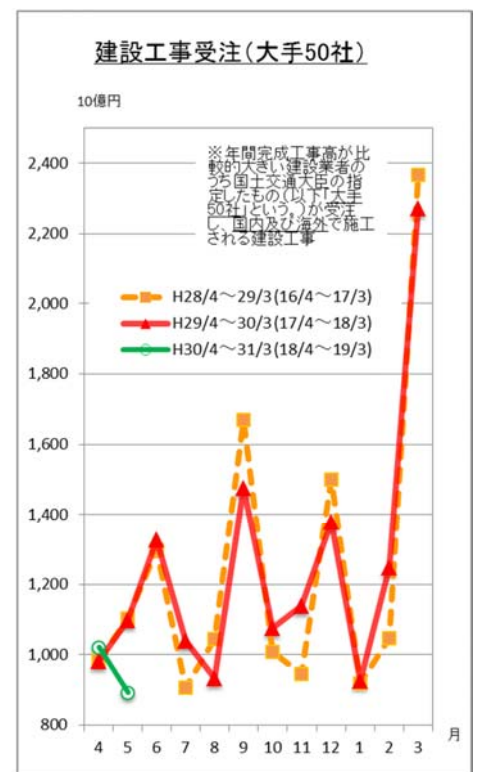
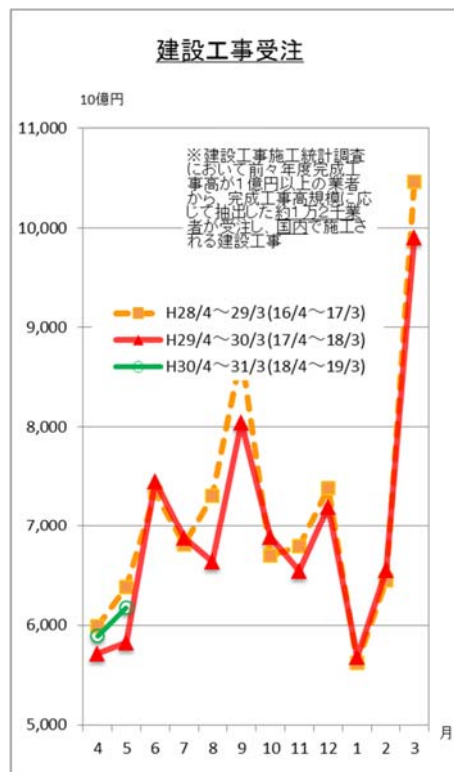
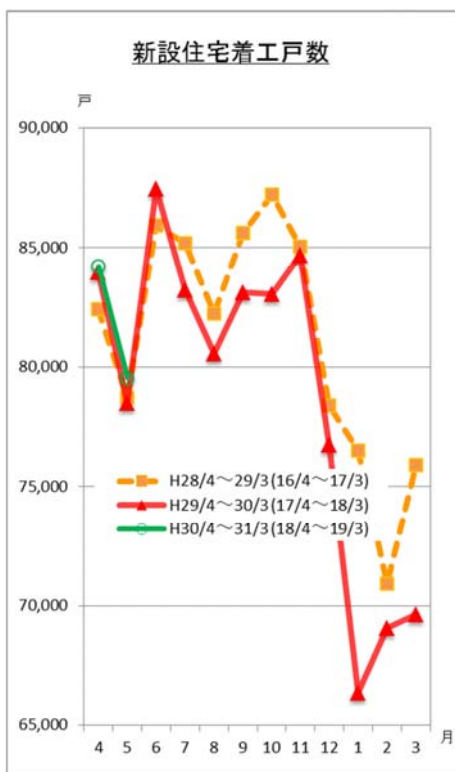
- ・売上高の増加は、再生可能エネルギー事業及び環境エンジニアリング事業が貢献
- ・(株)タケエイ単体の売上原価が増加
- ・貸倒引当金繰入を営業外費用に計上
- ・環境エンジニアリング事業で特別損失を計上

市場環境

<新設住宅着工戸数>

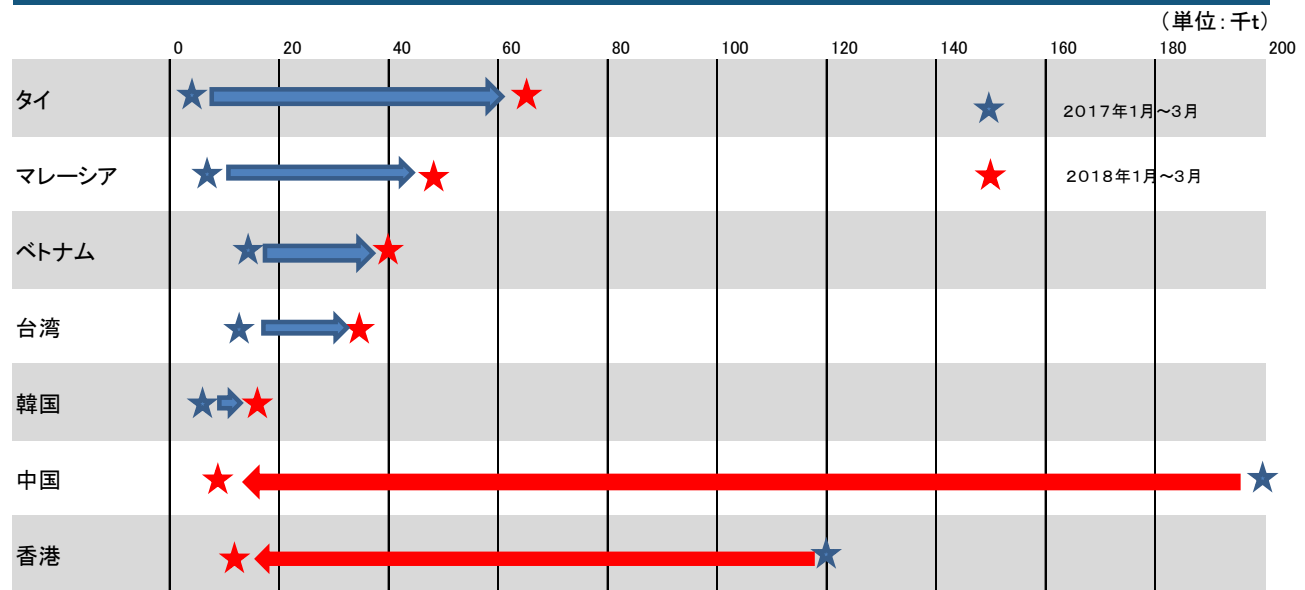
<建設工事受注動態統計>

(出所：国土交通省)



中国政府は生活ごみ由来のプラスチック、合成繊維のくずなど4類・24品目の廃棄物について、2017年末までに輸入を禁止。

日本から各国への廃プラスチックの輸出状況変化



出所: 日経アジア及び財務省貿易統計

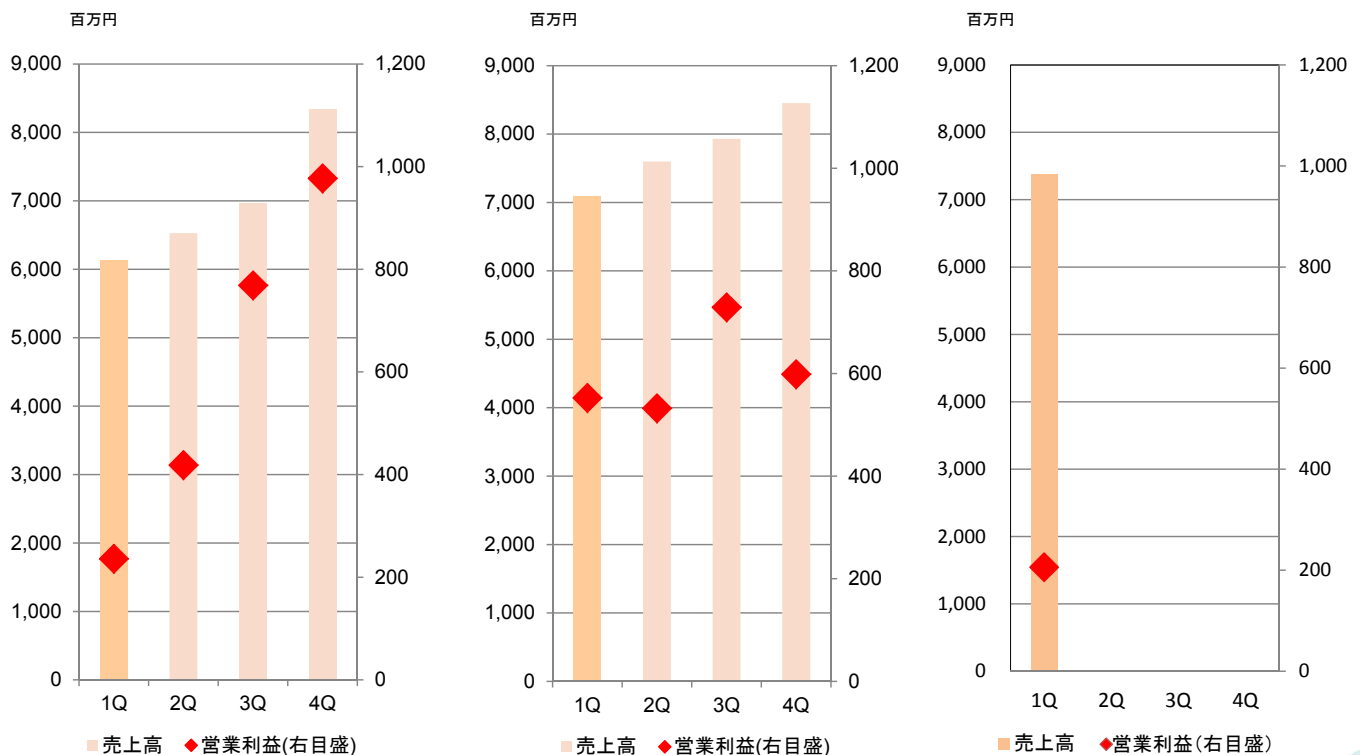
日本から中国及び香港への輸出が激減し、また、東南アジア各国への輸出増では吸収できず、日本国内に廃プラが滞留。

直近3事業年度における四半期決算比較 (連結)

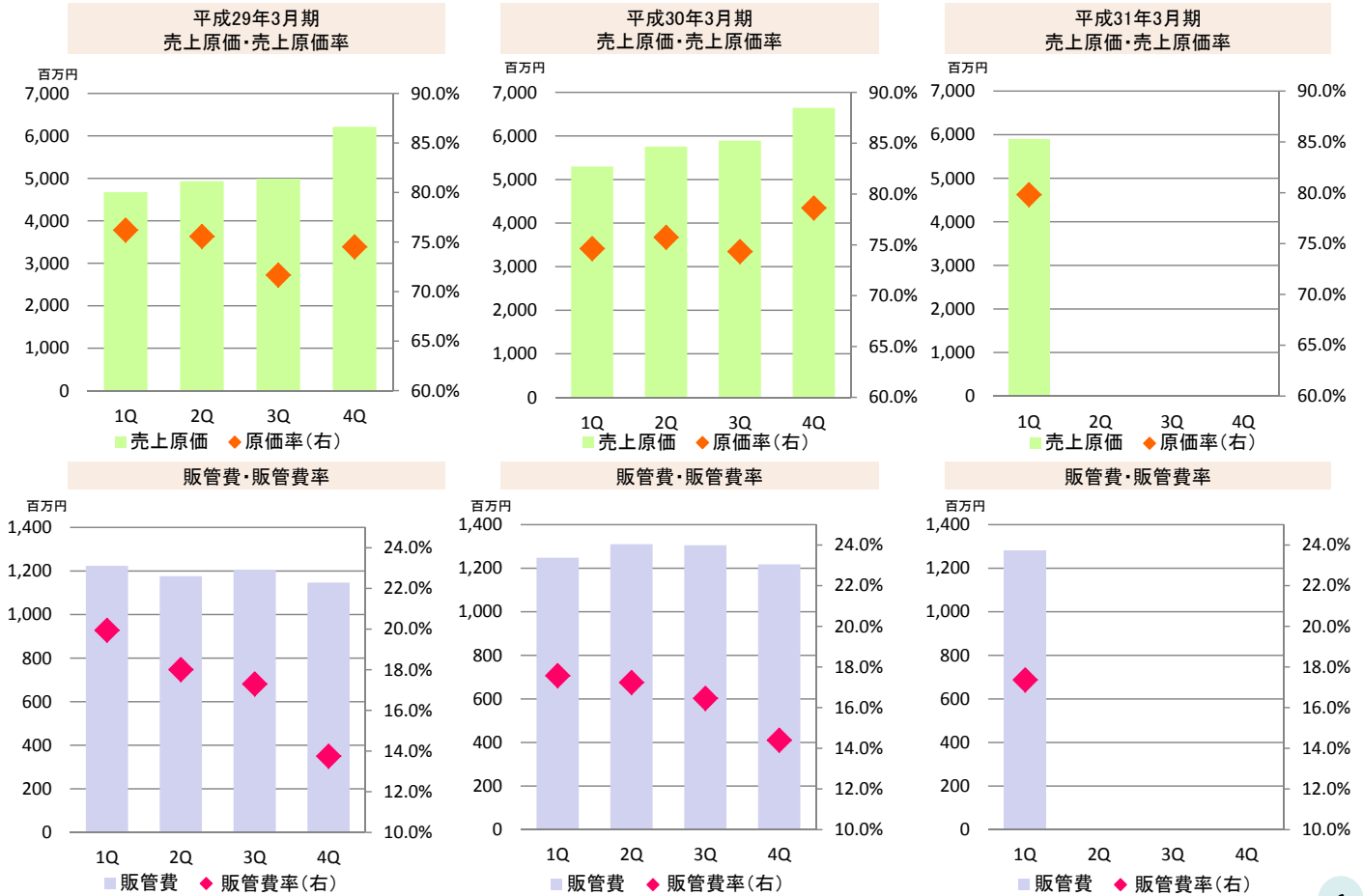
平成29年3月期
売上高・営業利益

平成30年3月期
売上高・営業利益

平成31年3月期
売上高・営業利益



直近3事業年度における四半期決算比較（連結）



事業カテゴリー別売上高及び営業利益（連結）

単位：百万円

会社名	売上高			営業利益			営業利益率	
	H29.6 (2017/6)	H30.6 (2018/6)	前年同期比	H29.6 (2017/6)	H30.6 (2018/6)	前年同期比	H29.6 (2017/6)	H30.6 (2018/6)
連結	7,099	7,380	+3.9%	552	207	-62.4%	7.8%	2.8%
(株)タケエイ(単体)	3,596	3,603	+0.2%	209	-125	—	5.8%	—
〈マテリアル&ランドフィル事業〉	2,010	2,026	+0.8%	312	236	-24.2%	15.5%	11.7%
〈再生可能エネルギー事業〉	899	1,007	+12.0%	54	93	+73.2%	6.0%	9.2%
〈環境エンジニアリング事業〉	793	960	+21.1%	-27	-35	—	—	—
〈環境コンサルティング事業〉	278	304	+9.2%	32	24	-24.1%	11.6%	8.0%
連結消去	-476	-519		-28	14			

※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

(注)1: 各カテゴリー別の数値は、グループ各社の連結消去前売上高、営業利益を単純合算
(注)2: 事業カテゴリーのうち、環境エンジニアリング事業は富士車輛株

グループ各社の売上／営業利益（率） <累計>

Only One Earth



単位：百万円

会社名	売上高		営業利益		営業利益率		主な業務	
	H29.6 (2017/6)	H30.6 (2018/6)	H29.6 (2017/6)	H30.6 (2018/6)	H29.6 (2017/6)	H30.6 (2018/6)		
			前年同期比	前年同期比				
連結	7,100	7,380	+3.9%	208	-62.4%	7.8%	2.8%	建設廃棄物等の収集運搬・中間処理・リサイクル・最終処分
(株)タケエィ	3,596	3,603	+0.2%	209	-	5.8%	-	
<廃棄物処理・リサイクル事業、建設廃棄物処理>								
(株)池田商店	159	221	+39.6%	45	+61.7%	28.5%	33.0%	再生骨材・再生砕石への再資源化
(株)ギプロ	223	191	-14.6%	91	-33.9%	40.9%	31.6%	廃石膏ボード再資源化
(株)グリーンアローズ関東	116	92	-21.0%	24	-97.2%	20.9%	0.7%	廃石膏ボード再資源化(H26/4開業)
(株)グリーンアローズ東北	52	65	+24.1%	-10	-	-	-	廃石膏ボード再資源化
(株)タケエィメタル	239	285	+19.5%	17	-25.6%	7.0%	4.4%	鉄・非鉄スクラップのリサイクル
東北交野(株)	104	53	-49.4%	7	+2.8%	6.3%	12.8%	汚泥・燃えがら・ばいじん類・銼さい等由来の再生砕石 製造(リサイクル)
イコールゼロ(株)	380	375	-1.5%	37	-43.3%	9.8%	5.6%	廃液処理・有害産業廃棄物処理・リサイクル
(株)タケエィグリーンリサイクル	137	142	+3.6%	-30	-	-	-	生木等の再生資源化・再生エネルギー原料化
<廃棄物処理・リサイクル事業、ランドフィル>								
(株)北陸環境サービス	334	322	-3.6%	131	-18.2%	39.3%	33.3%	管理型最終処分場の運営、廃プラリサイクル
(株)信州タケエィ	233	248	+6.3%	-4	-	-	3.2%	産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬・中間処理・リサイクル、解体等
(株)タケエィエナジー&パーク	31	31	+0.2%	9	+2.1%	27.5%	28.0%	パークゴルフ場運営、太陽光発電
(株)門前クリーンパーク	-	-	-	-6	-	-	-	<事業準備会社>管理型最終処分場
<再生可能エネルギー事業>								
(株)T・Vエナジーホールディングス	-	-	-	-0.2	-	-	-	再生可能エネルギー事業への投融資・運営
(株)津軽バイオマスエナジー	355	406	+14.3%	21	+184.4%	6.0%	14.9%	木質バイオマス発電
(株)花巻バイオマスエナジー	357	359	+0.4%	47	-39.8%	13.1%	7.9%	木質バイオマス発電
(株)田村バイオマスエナジー	-	-	-	-8	-	-	-	<事業準備会社>木質バイオマス発電
(株)横須賀バイオマスエナジー	-	-	-	-2	-	-	-	<事業準備会社>木質バイオマス発電
秋田グリーン電力(株)	-	-	-	-0.4	-	-	-	<事業準備会社>木質バイオマス発電
花巻バイオチップ(株)	142	144	+1.6%	-7	-	-	6.6%	木質バイオマス発電用燃料の製造・供給
(株)津軽あつぷるパワー	27	26	-5.1%	1	+92.8%	3.6%	7.4%	小売電気事業
(株)花巻銀河パワー	18	72	+312.9%	2	+503.7%	10.7%	15.7%	小売電気事業
<環境エンジニアリング事業>								
富士車輛(株)	793	960	+21.1%	-27	-	-	-	環境プラント・車輛等の開発・製造・販売
<環境コンサルティング事業>								
環境保全(株)	154	183	+18.6%	12	-21.2%	7.5%	5.0%	環境計量証明事業
(株)アースアブレイザル	124	121	-2.5%	21	-25.7%	16.6%	12.6%	環境コンサルティング
消去	-476	-519	-	-28	14	-	-	

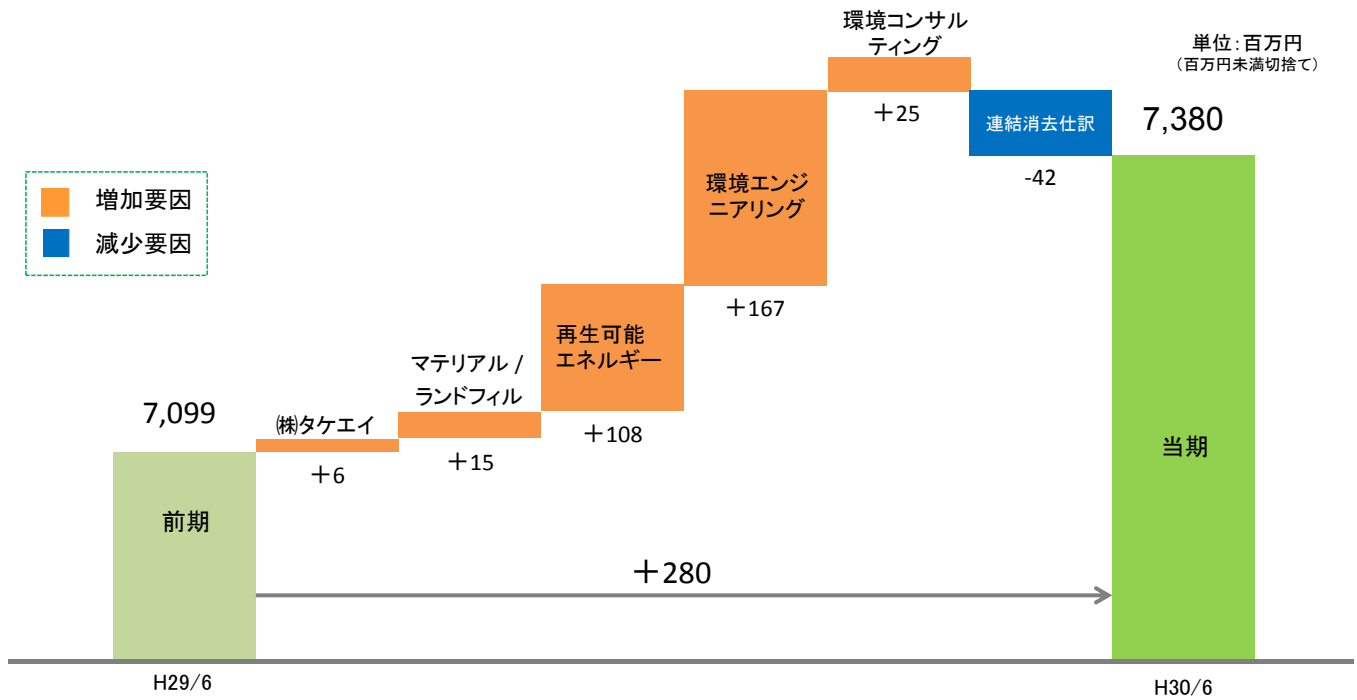
※百万円未満四捨五入

(注)平成31年3月期より、(株)タケエィグリーンリサイクル及び(株)タケエィエナジー&パークは従来の<再生可能エネルギー事業>からそれぞれ、<廃棄物処理・リサイクル事業：マテリアル>、<廃棄物処理・リサイクル事業：ランドフィル>に変更

事業カテゴリー別売上高 増減分析 (連結)

○再生可能エネルギー: 未利用材の割合が増加し売電単価が上昇

○富士車輛 (株): 環境及び車輛関連の売上がいずれも堅調



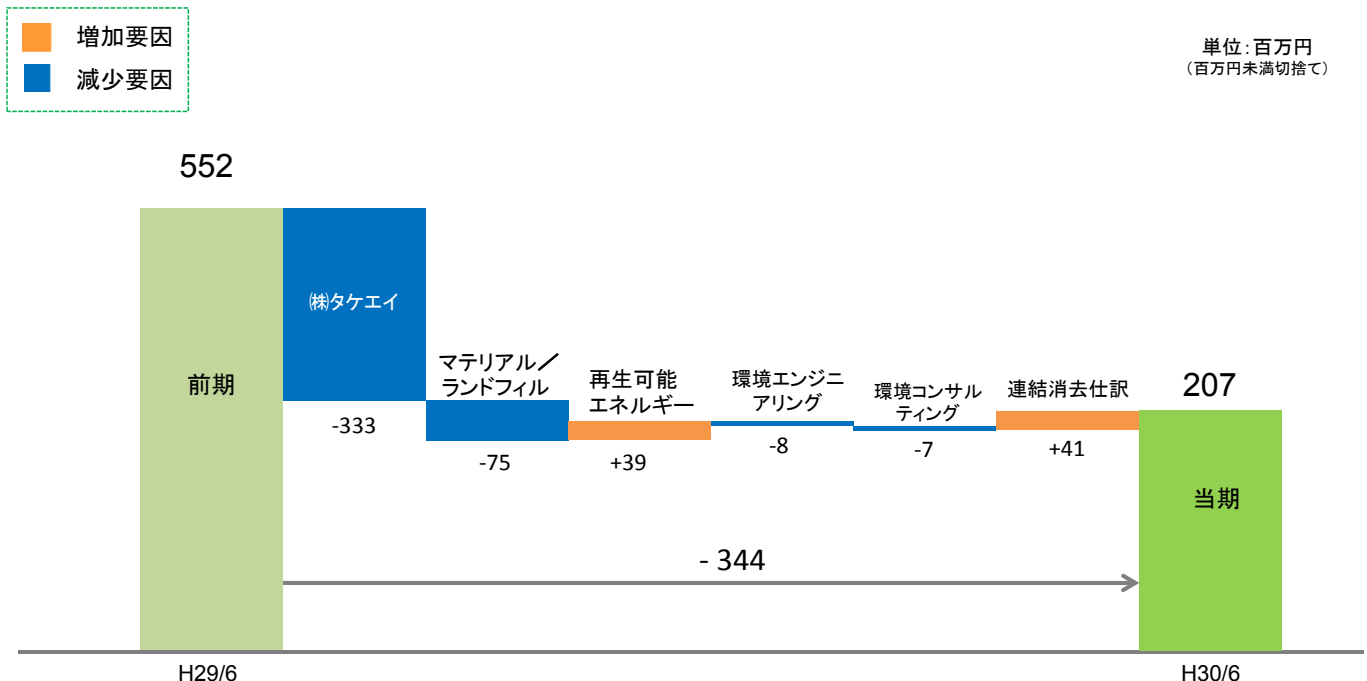
(注) 1: 各カテゴリー別の数値は、グループ各社の連結消去前売上高の増減を単純合算

事業カテゴリー別営業利益 増減分析 (連結)

○(株)タケエイ: 外部運搬費・外部処理費の増加により営業減益

○マテリアル/ランドフィル: 石膏ボードの取扱量が減少

○再生可能エネルギー: 津軽バイオマスエナジーの効率的運転により増益



(注) 1: 各カテゴリー別の数値は、グループ各社の連結消去前営業利益の増減を単純合算

損益動向（連結）

Only One Earth

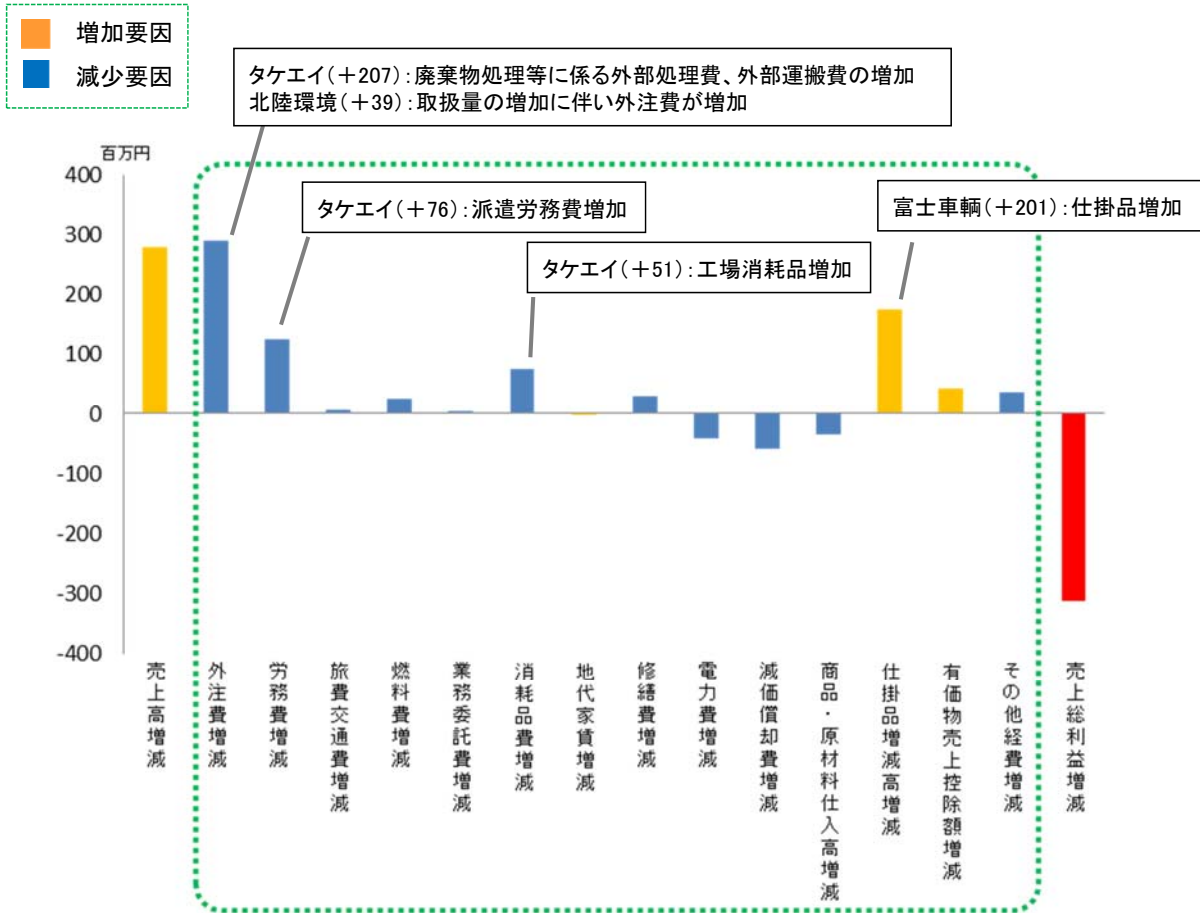


単位：百万円

	H29/6 (2017/6)		H30/6 (2018/6)		前年同期比
	売上高	売上高比	売上高	(増減)	
売上高	7,100	100.0%	7,390	100.0%	+3.9%
売上原価	5,299	74.6%	5,890	79.8%	+5.2%Pt
(注5) 外注費	1,782	25.1%	2,071	28.1%	+3.0%Pt
労務費	1,372	19.3%	1,498	20.3%	+1.0%Pt
経費	2,674	37.7%	2,689	36.4%	-1.2%Pt
(注5) 旅費交通費	128	1.8%	134	1.8%	+0.0%Pt
燃料費	156	2.2%	183	2.5%	+0.3%Pt
業務委託費	131	1.8%	135	1.8%	-0.0%Pt
消耗品費	148	2.1%	224	3.0%	+0.9%Pt
地代家賃	62	0.9%	59	0.8%	-0.1%Pt
リース料	76	1.1%	65	0.9%	-0.2%Pt
修繕費	222	3.1%	252	3.4%	+0.3%Pt
電力費	96	1.4%	56	0.8%	-0.6%Pt
減価償却費	568	8.0%	510	6.9%	-1.1%Pt
商品・原材料仕入高	896	12.6%	861	11.7%	-1.0%Pt
仕掛品増減高	-389	-5.5%	-213	-2.9%	+2.6%Pt
他勘定振替高	-44	-0.6%	-28	-0.4%	+0.2%Pt
有価物売上控除額(▲)	-95	-1.3%	-137	-1.9%	-0.5%Pt
売上総利益	1,801	25.4%	1,490	20.2%	-5.2%Pt
販売費及び一般管理費	1,248	17.6%	1,282	17.4%	-0.2%Pt
人件費	752	10.6%	800	10.8%	+0.2%Pt
その他経費	496	7.0%	482	6.5%	-0.5%Pt
(注5) のれん償却	44	0.6%	18	0.2%	-0.4%Pt
営業利益	552	7.8%	208	2.8%	-5.0%Pt
営業外収益	27	0.4%	33	0.4%	+0.1%Pt
(注5) 持分法による投資利益	0	0.0%	8	0.1%	+0.1%Pt
営業外費用	68	1.0%	246	3.3%	+2.4%Pt
貸倒引当金繰入	0	0.0%	191	2.6%	+2.6%Pt
(注5) 支払利息	37	0.5%	40	0.5%	+0.0%Pt
持分法による投資損失	13	0.2%	0	0.0%	-0.2%Pt
経常利益	511	7.2%	-6	-0.1%	-7.3%Pt
特別利益	10	0.1%	10	0.1%	-0.0%Pt
特別損失	0	0.0%	201	2.7%	+0.0%Pt
税金等調整前四半期純利益	520	7.3%	-197	-2.7%	-10.0%Pt
法人税、住民税及び事業税	224	3.2%	141	1.9%	-1.2%Pt
法人税等調整額	-10	-0.1%	-99	-1.3%	-1.2%Pt
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	0.3%	33	0.5%	+0.2%Pt
親会社株主に帰属する四半期純利益	286	4.0%	-273	-3.7%	-7.7%Pt

※百万円未満 四捨五入

粗利益増減分析（売上高・主要費用項目）（連結）



貸借対照表の動向（資産）（連結）

単位: 百万円

	H30/3末 (2018/3)		H30/6末 (2018/6)		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)					
流動資産	21,007	31.3%	17,845	27.3%	-3,162
現金及び預金	13,155	19.6%	9,996	15.3%	-3,159
受取手形及び売掛金	5,552	8.3%	5,161	7.9%	-391
商品及び製品	28	0.0%	20	0.0%	-8
仕掛品	805	1.2%	1,011	1.5%	+206
原材料及び貯蔵品	987	1.5%	1,057	1.6%	+70
未収入金	218	0.3%	315	0.5%	+97
その他	268	0.4%	291	0.4%	+23
貸倒引当金	-7	-0.0%	-7	-0.0%	+0
固定資産	45,277	67.4%	46,680	71.4%	+1,403
有形固定資産	42,158	62.8%	43,473	66.5%	+1,315
建物及び構築物	8,416	12.5%	8,356	12.8%	-60
機械装置及び運搬具	6,681	10.0%	6,509	10.0%	-172
最終処分場	660	1.0%	621	0.9%	-39
土地	17,054	25.4%	17,056	26.1%	+2
建設仮勘定	8,832	13.2%	10,440	16.0%	+1,608
その他	513	0.8%	489	0.7%	-24
無形固定資産	863	1.3%	859	1.3%	-4
のれん	342	0.5%	324	0.5%	-18
その他	520	0.8%	535	0.8%	+15
投資その他の資産	2,255	3.4%	2,346	3.6%	+91
投資有価証券	513	0.8%	540	0.8%	+27
退職給付に係る資産	86	0.1%	98	0.1%	+12
繰延税金資産	294	0.4%	308	0.5%	+14
その他	1,451	2.2%	1,680	2.6%	+229
貸倒引当金	-90	-0.1%	-280	-0.4%	-190
繰延資産	857	1.3%	858	1.3%	+1
資産合計	67,141	100.0%	65,384	100.0%	-1,757

- 現金及び預金 <減少要因>・株タケエイ 借入純減、子会社貸付等(-2,717)
- 受取手形及び売掛金 <減少要因>・株タケエイ (-239)、富士車輛(-241)
- 仕掛品 <増加要因>・富士車輛株 (+201)
- 原材料及び貯蔵品 <増加要因>・富士車輛株 (+43)、花巻パイオチップ株(+30)
- 未収入金 <増加要因>・株タケエイ(+64)、株花巻銀河(+53)
- 機械装置 <減少要因>・株タケエイ(-51)
- 建設仮勘定 <増加要因>・株門前クリーンパーク:最終処分場の設計 (+217)
・株横須賀BE (+326)
・秋田グリーン電力株(+1,071)

※百万円未満切捨て

貸借対照表の動向（負債及び純資産）（連結）

単位：百万円

	H30/3末 (2018/3)		H30/6末 (2018/6)		増減額
		構成比		構成比	
(負債の部)					
流動負債	10,977	16.3%	10,982	16.8%	+5
買掛金	1,245	1.9%	1,129	1.7%	-116
短期借入金	762	1.1%	762	1.2%	+0
1年内返済予定の長期借入金	5,818	8.7%	5,730	8.8%	-88
未払法人税等	458	0.7%	153	0.2%	-305
修繕引当金	21	0.0%	25	0.0%	+4
機械式立体駐車場関連損失引当金	—	—	200	0.3%	+200
その他	2,672	4.0%	2,981	4.6%	+309
固定負債	28,372	42.3%	27,548	42.1%	-824
長期借入金	26,514	39.5%	25,154	38.5%	-1,360
繰延税金負債	564	0.8%	487	0.7%	-77
退職給付に係る負債	334	0.5%	343	0.5%	+9
修繕引当金	45	0.1%	54	0.1%	+9
役員株式給付引当金	38	0.1%	40	0.1%	+2
資産除去債務	450	0.7%	452	0.7%	+2
圧縮未決算特別勘定	—	—	617	0.9%	+617
その他	425	0.6%	397	0.6%	-28
負債合計	39,350	58.6%	38,531	58.9%	-819
(純資産の部)					
株主資本	26,791	39.9%	25,888	39.6%	-903
資本金	6,640	9.9%	6,640	10.2%	+0
資本剰余金	7,262	10.8%	7,177	11.0%	-85
利益剰余金	13,798	20.6%	13,171	20.1%	-627
自己株式	-910	-1.4%	-1,100	-1.7%	-190
その他の包括利益累計額	140	0.2%	158	0.2%	+18
その他有価証券評価差額金	114	0.2%	132	0.2%	+18
退職給付に係る調整累計額	25	0.0%	25	0.0%	+0
非支配株主持分	860	1.3%	806	1.2%	-54
純資産合計	27,791	41.4%	26,853	41.1%	-938
負債純資産合計	67,141	100.0%	65,384	100.0%	-1,757

➡ 機械式立体駐車場関連損失引当金 <増加要因> ・富士車輛株 (+200)

➡ 長期借入金 <減少要因> ・株タケエイ (-1,384)

➡ 圧縮未決算特別勘定 <増加要因> ・株田村BE (+617)

➡ 自己株式 <増加要因> ・株タケエイ (-190)

➡ 非支配株主持分 <減少要因> ・連結 (-53)

※百万円未満四捨五入

設備投資・減価償却費および従業員数・車両台数の推移（連結/個別）

<設備投資・減価償却費>

単位：百万円

	H29/4-6 (2017/4-6) (1Q期)	H30/4-6 (2018/4-6) (1Q期)	H30/3 (2018/3) (通期)	H31/3 予想 (2019/3) (通期)
設備投資				
連結	2,760	1,902	7,348	10,389
(うち 株タケエイ)	1,885	198	2,589	1,687
減価償却費				
連結	605	555	2,512	2,530
(うち 株タケエイ)	240	232	1,064	1,054
のれん償却	44	18	172	65

※百万円未満 四捨五入

<主な設備投資 2018/3実績>

株タケエイ	
福島県相馬市 事業用地取得	17億円
相馬事業所 RPF製造装置	1億円
川崎RC RPF成形ライン	3.5億円
株北陸環境サービス	
新処分場建設	6億円
株門前クリーンパーク	
土地取得	5億円
株横須賀バイオマスエナジー	
建屋、プラント設置	16億円
株田村バイオマスエナジー	
着手金	8億円

<従業員数・車両台数>

	H29/6末 (2017/6)	H30/3末 (2018/3)	H30/6末 (2018/6)
期末従業員数 (人)			
連結	1,249	1,288	1,264
(うち 株タケエイ)	615	646	610
収集運搬車両 (台) 単体	276	276	284

<主な設備投資 2019/3(計画)>

株タケエイ	
川崎RC 設備改修、作業環境改善、重機・車輛入替など	5億円
東京RC 設備改修、重機入替など	3億円
株北陸環境サービス	
新処分場建設	9億円
株門前クリーンパーク	
処分場建設、アセスメント調査費用など	23億円
株タケエイグリーンリサイクル	
工場新設、重機入替・購入など	4億円
株横須賀バイオマスエナジー	
建屋・発電プラント、重機・車輛購入など	5億円
株田村バイオマスエナジー	
建築費、ボイラー設置、放射線測定器購入など	12億円
秋田グリーン電力株	
発電所建設、ボイラー設置、重機購入など	23億円

<決算見通し>

単位：百万円

	H30/3 (2018/3)		H31/3 (2019/3)			上期		下期	
	<実績>		<予想>			<予想>		<予想>	
		売上高比		売上高比	前期比		前同比		前同比
売上高	31,084	100.0%	33,500	100.0%	+7.8%	15,800	+7.5%	17,700	+8.0%
営業利益	2,402	7.7%	2,800	8.4%	+16.6%	1,250	+15.2%	1,550	+17.6%
経常利益	2,292	7.4%	2,650	7.9%	+15.6%	1,170	+17.0%	1,480	+14.5%
当期純利益 ◆	1,356	4.4%	1,500	4.5%	+10.5%	630	+18.8%	870	+5.2%

◆親会社株主に帰属する当期純利益 ※百万円未満切捨て

ご参考



(株)津軽バイオマスエナジーの排熱利用による高精度トマト

環境賞とは

公害問題が発生・深刻化した1974年(昭和49年)に創設。環境を守り、未来につなげる調査や研究、技術・製品開発などを募集し、画期的な効果をあげた個人、法人、団体・グループ等に授与される。国立研究開発法人国立環境研究所・(株)日刊工業新聞社主催、環境省後援。(環境賞HPより)

優秀賞「ガスセンサー制御硫化物法による金属廃液・汚泥処理」

株式会社アクアテック 大西 彬聡様
 マツイマシン株式会社 松井 洋様 (3社共同開発)
 イコールゼロ株式会社 林 宏道

【受賞理由】

重金属含有廃液の処理法において、硫化剤の添加により金属硫化物を沈殿させる「硫化剤添加制御方法」を開発。硫化水素ガスセンサーを用いるプロセス制御手法を開発し、硫化剤添加量の最適化を可能にした。

硫化イオンと金属イオンが反応し、疎水性の沈殿物を生成することにより、石灰などのアルカリを添加する従来の方法に比べ、有用金属含有回収汚泥の含水率が45%程度と低く、発生量も40%程度に抑えられるため、廃水の高度処理と金属資源回収を両立できる。

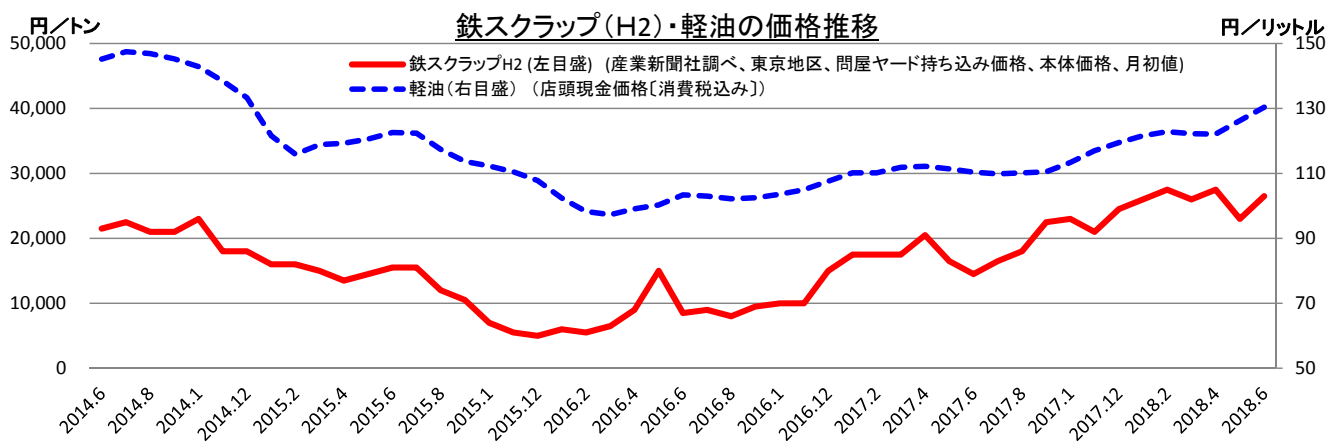


中央がイコールゼロ(株)の林社長(環境賞HPより)

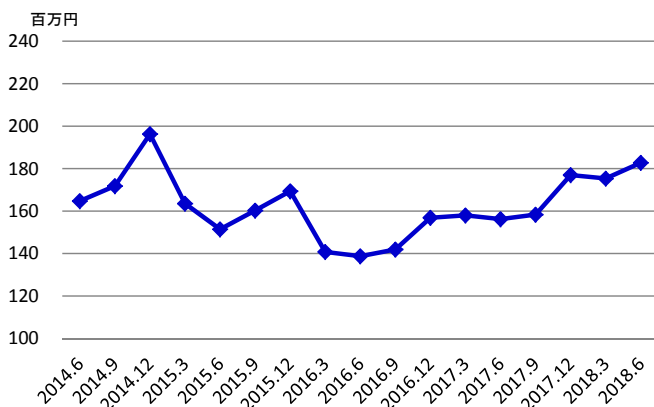
		長所	短所
水酸化物法 (従来技術)	$M^{++} + 2OH^{-} \rightarrow M(OH)_2 \cdot nH_2O$	<ul style="list-style-type: none"> 反応制御が容易 安全性が高く、臭気も少ない 	<ul style="list-style-type: none"> スラッジ*の含水率が高い 不純物が多い
新硫化物法 (受賞対象)	$M^{++} + S^{--} \rightarrow MS \downarrow$ - (1) $2H^{+} + S^{--} \rightarrow H_2S \uparrow$ - (2) 硫化剤過剰添加の場合 $nMS + mS^{--} \rightarrow MS_{mn}^{-2(m-n)}$ (コロイド化) - (3)	<ul style="list-style-type: none"> スラッジ発生量の削減 高度処理が可能 異種金属の分離回収が可能 リサイクルが可能 	

*スラッジ 下水処理や工場排水処理などの過程で生じる、腐敗しやすい有機物を含み、臭気の強い沈殿物、汚泥。

商品相場と当社グループに与える影響について



(株)タケエイ(連結)の燃料費推移



(株)タケエイ金属の売上高推移

